

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

第38631号 (日刊) 2012年 (平成24年) 1月5日 (木曜日)

市柳町4-29
号 960-8648
新聞社
24)523-1191
24)523-1390
24)523-1472
2180-8-5070
新聞社 2012

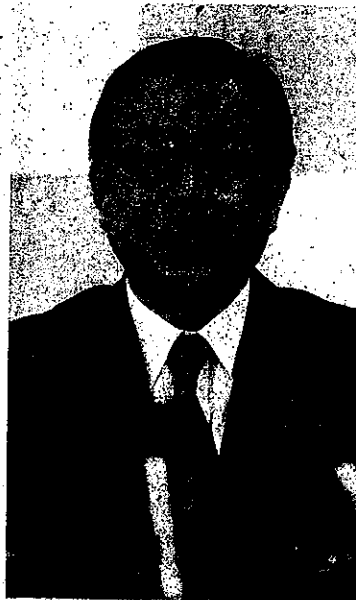
県、コメ全袋検査へ

知事年頭会見 今秋収穫分、出荷前に

佐藤雄平知事は4日、知事公館で年頭の記者会見を行い、今秋収穫される県産米の放射性物質検査を強化する考えを示した。出荷前に全袋を検査する体制を整備する方針で、測定機器メーカーが開発中のベルトコンベヤー式測定機器の導入などを関係機関と調整している。県は全袋検査により消費者の信頼回復を目指す出荷体制を整える方針。【3面に関連記事】

新測定機器を導入

2011(平成23)年度米の検査では、県が安全宣言を出した後に、福島市や伊達市、二本松市の一部の地域のコメから国の暫定基準値を超える放射性セシウムが確認された。これを踏まえ県は、全袋検査の実施に向け、県内J.Aが所有する各地域のコメ倉庫などに



年頭の会見に臨む佐藤知事＝知事公館

測定器を設置、倉庫搬入時に放射線量を測定して出荷の可否を判断する体制を確立したい意向だ。

また今春からコメを含め食品の放射性物質の基準が厳格化されるため、測定精度が高い機器開発が課題と

なることから、県は迅速性や効率性の面から流れ作業で測定できるベルトコンベヤー式の測定機器の導入を視野に入れている。

当初予算の計上を目指し、国の復興関連基金を活用す



宿題や書き初め

「思い出をつくりたい」学期の抱負を述べた。児童はそれぞれの教室の宿題や書き初めなどを提出。祖父母と過ごしたい出などをうれしそうに

夏休(を)を1週間延ばしたため、冬休みをして7日間にした。同市休みを7日間とした本宮ら3学期に入る。両市を区域などの自治体を含めとんどの公立小中学校は期の始業式が行われる。

る方向で国と調整している。

佐藤知事は会見で「ぶくしまの恵み 安全・安心推進事業」として検査態勢の強化を図る考えを表明「本県農林水産物の再生を図り、食の安全性を促進させたい」と述べた。

県は、本県農業の基幹作物のコメについて、全袋検査を通じて安全で安心な情報を消費者に提供、併せて放射性物質濃度の情報のデータベース化も進めて信頼回復を図る。

野菜や果実などの園芸作物については、鮮度などの

天気

5日9時予想図

改革 来週、野党に

首相年頭会見

増税

野田佳彦首相は4日、官邸で年頭の記者会見を行い、消費税を2段階の0.5%増税を断念した。経費大綱を閣議決

